

商工会青年部連合会 通常総会

四月二十二日（月）、令和六年度通常総会が県中小企業研修センターにて開催された。和田会長は開会にあたり、元日に発生した令和六年能登半島地震で犠牲となられた方々に哀悼の意を表された。

議事では、令和五年度の事業報告、収支決算報告が行われ、「IMPULSE of PASSION」愛顔（えがお）を胸に情熱を持ってインパルス活動を「えがお」をスローガンとした令和六年度事業計画等の全議案が承認された。

総会終了後、青年部女性部合同による通常総会（合同総会）に続き、会場を移して青年部単独で懇親会を実施した。

新型コロナウイルスの影響で大規模な宴会等を自粛する中、五類感染症移行に伴いおよそ五年ぶりに開催したもので、参加した約八十名の部員は、富山県内で事業に携わった青年とが経済人として、大いに語り親睦を深めることができた。



開会挨拶を述べる和田会長



懇親会参加者による集合写真

ごあいさつ



富山県商工会青年部連合会会長

和田 美樹

最大震度七の大地震から始まった令和六年。九月には豪雨災害、年明けには青森県などで豪雪災害が発生するなど、日本各地が自然災害に悩まされました。

富山県商工会青年部連合会では、このような時だからこそ、より一層地域から必要とされる商工会青年部を目指し、支援活動に取り組みました。

震災間もない一月。私たちは氷見市と石川県志賀町を訪れ、多くの支援物資を被災地に送り届けました。

また九月には記録的豪雨の被害を受けた輪島市門前町に向かい、延べ四十名で家屋からの流木や泥出し作業等を行いました。

十一月に開催した青年部全国大会では、中部ブロック商工会青年部連絡協議会として、復興支援シリコンバンドを制作・販売し、その収益金を石川県への義援金に充てました。

これらの活動の端々で、「青年部内の仲間たちとの絆」「青年部と地域との絆」、「全国の青年部間の絆」を強く感じる事ができました。

地域に欠かせない存在として、地域に寄り添った存在として、商工会青年部はこれからも活動を継続します。

かけがえのない人たちとかけがえのない地域の為に、変わらぬご協力をよろしくお願い申し上げます。

Content

- P1 通常総会
ごあいさつ
- P2 主張発表県大会・ゼミナール
主張発表中部ブロック大会
青年部全国大会
部長研修会
- P3 レクリエーション事業
対抗ゴルフ大会
北陸三県商工会青年部連合会
正副会長等会議
宮城県商工会青年部連合会
との交流研修会
- P4 元気な商工会地域づくり
支援事業
研修・広報委員会の活動報告

主張発表県大会・ゼミナール

七月十七日(水)、商工会青年部主張発表県大会が県中小企業研修センターにて開催された。呉東・呉西の各ブロック大会で選出された七名の代表者が、日頃の青年部活動や地域振興・まちづくりに関して熱のこもった発表を行い、上市町商工会青年部の堀田将以さんが最優秀賞に選ばれた。また大会に先んじて、全国商工会青年部連合会会長 夏堀将太郎氏を招き、「青年部の歩き方」と題し、ゼミナールを開催した。

県大会の結果は次の通り

最優秀賞 (発表順)

堀田 将以 (上市町) 谷井 拓也 (富山市)
 優秀賞 (発表順) 山口 克次 (高岡市)
 亀井 彩乃 (射水市) 高平 侑 (立山舟橋)
 宝田 瑛吾 (入善町) 高田 裕之 (南砺市)

中部ブロック商工会青年部連絡協議会交流研修会

八月二十九日(木)、石川県ホテル金沢にて、中部ブロック商工会青年部連絡協議会交流研修会が開催され、中部ブロック管内の青年部員三百四十名が参加した。

主張発表中部ブロック大会においては、富山県代表の上市町商工会青年部の堀田将以さんが優良賞に選ばれた。

大会終了後、「商工会青年部のこれまでとこれから」というテーマで、全国商工会壮青年部連合会 宮窪会長、全国商工会青年部連合会 夏堀会長によるディスカッション形式で特別講演会が行われ、青年経営者の資質向上を図った。



発表を行った7名



県代表として発表を行う堀田さん

青年部全国大会

十一月二十七日(水)〜二十八日(木)、大阪府のパナソニックスタジアム吹田において、第二十四回商工会青年部全国大会が開催された。

大会顕彰では、人づくり部門に高岡市商工会青年部の山口克次さんが、ネットワークづくり部門に南砺市商工会青年部の北川智之さんが、それぞれ中部ブロックの代表として選ばれたほか、長年の貢献を認められ、富山市八尾山田商工会青年部の伊藤貴洋さんに感謝状が贈呈された。

また主張発表大会では、中部ブロック代表として出場した石川県能登町商工会青年部の鶴野晋太郎さんが最優秀賞に輝いた。



全国制覇を果たした鶴野さん

部長研修会

十二月十八日(水)、入善まちなか交流施設うるおい館において部長研修会を開催し、県下商工会の青年部長ら二十九名が参加した。

一般社団法人みらいまちラボ合同代表 坂東秀昭氏を招き、「自分が源々自分が変われば未来は明るくできる」をテーマに講演を行った。

坂東氏にとって、地域貢献とは、自分が死ぬ最後の瞬間こそが人生で最も幸福な時間であると感ずるための手段であり、年明けには念願の子供が生まれるが、その子の未来を明るくするために、活動の歩みは止めないと語られた。

また研修終了後、青年部功労者として全国商工会連合会会長表彰を受賞した二名(和田会長・平副会長)の部員の表彰伝達を行った。



講演を行う坂東氏

レクリエーション事業

十一月十日（日）、南砺市城南屋内グラウンドにおいて、レクリエーション事業が開催された。フィンランド発祥のスポーツ「モルック」を通じて、交流・親睦を深めた。

また「モルック」終了後、イオックスヴァルトに会場を移してBBQを実施。一つのテーブルを囲むことで、地域活性化に向けての一体感を醸成した。

○大会結果

- 優勝 南砺五車星チーム「雲」（南砺市）
- 二位 メルモモチーム（小矢部市）
- 三位 マウンテンビレッジチーム
（富山市八尾山田）



参加者による集合写真

対抗ゴルフ大会

十月二十九日（火）、八尾カントリークラブにおいて、商工会青年部対抗ゴルフ大会が開催された。

県内の各商工会青年部から総勢八十六名が参加し、個人戦と団体戦でスコアを競い親睦を深めた。

○団体優勝

- 富山市北チーム
- 二位 小矢部市Aチーム
- 三位 南砺市Aチーム

○個人優勝

- 田口 智貴（富山市北）
- ベストグロス賞
清水 大介（小矢部市）



参加者による集合写真

北陸三県商工会青年部連合会正副会長等会議

九月十三日（金）、庄川温泉風味道座敷ゆめつづりにおいて開催され、三県青連より三十三名が参加した。

今回は、令和六年能登半島地震の発災を踏まえ、災害支援をテーマに開催したもので、研修会では全青連会長として東日本大震災の被災地支援にあたりと共に、「100円玉募金」制度を創設した宮窪大作氏を講師に迎え、「大規模災害発生時におけるリーダーの心構え」と題して講演が行われた。

その後、宮窪氏立会いの下で「大規模自然災害対策等に関する協定」を三県青連で締結し、災害発生時における相互協力を誓い合った。



出席者による集合写真

宮城県商工会青年部連合会との交流研修会

十一月六日（木）～七日（金）、仙台市の江陽グラウンドホテルにて、宮城県商工会青年部連合会との交流研修会を開催し、両県青連あわせて五十六名が参加した。

研修会では、フリーアナウンサーの石川太郎氏を招き「震災からの復興」と題し、講演が行われた。その後、各班に分かれ「私たちが身近にできる防災・減災に関する取り組み」というテーマでグループワークを行い、「企業」「家庭」「地域」「自分自身」「商工会青年部」の5つの切り口で防災への意識を高めた。

また二日目には、国宝瑞巖寺と松島湾を視察、東日本大震災による被害状況を再認識した。



出席者による集合写真

元気な商工会地域づくり支援事業

射水市を舞台とした街コンを開催

射水市商工会青年部

射水市内の魅力ある特産物や事業所を紹介し、定住につなげようと街コンイベントを開催しました。射水市出身の柴田アナウンサー司会のもと、特産物であるへちまを使用したゲームを行ったほか、飲食では白エビやカニといった海産物から、りんごや梨、地酒等を振舞い地域にこだわった内容で実施。当日、男女総勢62名の参加者から8組のカップリングに成功し、市内で使える商品券を配布することで地域の賑わい創出にも貢献しました。



能登半島地震被災事業者を招いた

イベントの実施事業

富山市北商工会青年部

地震の影響が続く中で、被災地への注目が薄れつつあることに危機感を抱き、企画しました。当日は2事業者が出店し、商品販売や被災経験の共有を通じて事業再建を支援しました。防災意識を高めるために、消防車両の試乗体験やパネル展示、募金も行いました。イベントを通じて、地震の被害を改めて思い出してもらい、支援の機運を高めることができましたが、復興支援は長期的な取り組みが必要です。今後も復興支援と防災意識の向上に努めていきます。



青年部員の社業を活かした

南砺市の未来へつなぐ事業

南砺市商工会青年部

南砺市民に青年部員の事業を知り関心を持ってもらうことにより、消費活動の促進や地域経済の発展につなげることで、子供たちに将来、地元で仕事をすることに興味関心を持っていただくことを目的に「なんとワクworkパーク」を開催いたしました。当日は職業体験ブースや縁日ブース、飲食ブースに加え、ものづくり体験ができるチャレンジマイスター事業も同時開催することにより、多くの方にご来場いただくことができました。



地域資源を未来へつなぐ

ふるさとアンバサダー育成事業

庄川町商工会青年部

「地域資源をまちづくりに活かす！」という思いで、地域資源の啓発事業として3つのイベントを行いました。しょうがわ認定こども園で開催したイベントでは「庄川清流温泉」「庄川鮎」「庄川ゆず」をテーマに、足湯体験や鮎のつかみどり、ゆずじやがの試食会に加えて、パネル展示で地域資源の優れた点を紹介し、地域の次世代を担う保護者や園児に、楽しく分かりやすく、地域資源の魅力を伝えることが出来ました。



二年間を通じて、委員同士の絆が深まり、社業を通じたつながりが生まれ、ゴルフを共に楽しむ仲間ができたこととが、何より嬉しく感じています。この活動を通じて得た多くの経験や学び、そしてかけがえないご縁に心から感謝しております。皆様の温かいご協力とご支援のおかげで、無事に二年間の活動を終えることができました。本当にありがとうございます。

特に三月に行ったセミナー「主張発表大会県代表による座談会」は初の試みであり、代表者の熱い想いを共有する場として参加者から大変好評をいただきました。

南砺市商工会青年部の佐藤です。研修委員会の委員長を務めさせていただきます。研修委員会では、青年部ゼミナールを計四回開催し、宮城県青連との交流事業を富山と宮城で各一回実施しました。また、二年目も引き続き各単会地区の持ち回りで委員会を開催し、地域ごとの特色や風土を知る機会を設けました。移動が伴う中에서도多くの委員が積極的に参加してください、活発な意見交換を通じて事業を充実させることができました。



研修委員長 佐藤 良介

【研修委員会】

研修・広報委員会の活動

私たちが取り組んできたことを引き継いで行ってもらえるように、次期の広報委員のみなさんに、広報委員のみなさんのお陰です。ありがとうございます。

事業にも取り組みました。スタートしたばかりということもあり、まだまだこれからのところではありますが、新たに取組むことができたのも限られた時間でここまでできたのも、広報委員のみなさんのおかげです。

広報委員長の富山市八尾山田商工会青年部の加藤です。青年部のみなさん二年間ありがとうございました。広報委員会メンバーに支えられ、二年間務め上げることができました。二年目も昨年度同様、県青連レクリエーション大会の運営とインスタグラムの広報事業に取り組みました。中でも今年度はレクリエーション大会にて、県青連初の取組となる県連合同BBQ大会にも挑戦しました。



広報委員長 加藤 将仁

【広報委員会】